

## 第 142 回運輸政策コロキウム～ワシントンレポート X～のご案内

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび運輸総合研究所におきましては、「第 142 回運輸政策コロキウム～ワシントンレポート X～」をオンライン配信にて開催することとなりました。

つきましては、ご関心をお持ちの皆様におかれましては、ご参加を賜りますようご案内申し上げます。また、ご関心をお持ちの方々に広くご周知頂ければ幸いです。

ご参加に当たりましては、大変恐縮ですが、申込み専用 URL からお申込み頂きますようお願い申し上げます。

敬具

記

### ○第 142 回運輸政策コロキウム～ワシントンレポート X～

日 時：2021年6月3日（木）10：00～12：00

会 場：オンライン配信（Zoom ウェビナー）

テ ー マ：新型コロナウイルス感染拡大下における米国の交通機関支援

#### 1. 講演およびコメント

講 師：沖本 俊太郎 ワシントン国際問題研究所主任研究員

コメンテーター：日比野 直彦 政策研究大学院大学教授

#### 2. 質疑応答

コーディネーター：山内 弘隆 運輸総合研究所所長

参加費：無料

お申込み：下記の URL よりお申し込みください

<https://krs.bz/jterc/m/collo142>

（申込期限：5月31日（月）まで）



※お申し込み頂いた方には、6月2日（水）に視聴用 URL とともに資料の URL をご送付いたします。

運輸総合研究所は日本財団の助成を受けて活動を行っております。

Supported by  日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION

お問い合わせ：一般財団法人運輸総合研究所 企画部（担当：新倉(にいくら)）  
〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-18-19（UD 神谷町ビル）  
TEL：03-5470-8415 FAX：03-5470-8419  
E-mail：[collo@jttri.or.jp](mailto:collo@jttri.or.jp) HP：<https://www.jttri.or.jp/>

## 概要：新型コロナウイルス感染拡大下における米国の交通機関支援

米国は昨年3月以降新型コロナウイルスの感染拡大が続き、感染者数・死者数ともに世界最大となっている。これは社会・経済に極めて大きな影響を及ぼし、中でも、交通・運輸関係の産業には甚大なダメージを与えている。本報告では、感染拡大が米国の交通機関（鉄道、バス、航空等）にもたらした影響について日本との比較もしながら統計分析を行ったうえで、連邦政府が既存制度や新制度をどのように用いて交通機関への支援を行ってきたかについて、米国と日本の公共交通に対する考え方の違いなどにも触れながら紹介する。

また、感染拡大による社会への影響の今後の見通しに関する米国内での言説などについても併せて紹介し、米国の交通機関がコロナ禍で直面している状況について理解を深めることで、日本で交通業界や関係者がそれぞれ向き合っている課題についての解決の視点を提供する。

### 講師 沖本 俊太郎 ワシントン国際問題研究所主任研究員 【略歴】

2007年京都大学農学部卒業。国土交通省に入省し、外航海運事業者の国際競争力強化（2011年4月～2012年7月 海事局外航課係長）、整備新幹線・リニア等の幹線鉄道の整備（2015年4月～2018年6月 鉄道局幹線鉄道課課長補佐（総括））など、制度・政策の企画立案に従事。2018年6月より、ワシントン国際問題研究所に在籍。



### コメンテーター 日比野 直彦 政策研究大学院大学教授 【略歴】

政策研究大学院大学 政策研究科 教授。博士（工学）。  
東京理科大学 大学院 理工学研究科 修了。東京理科大学 理工学部 土木工学科 助手、財団法人 運輸政策研究機構 運輸政策研究所 研究員、政策研究大学院大学 助教授、同大学 准教授を経て現職。この間、財団法人 運輸政策研究機構 運輸政策研究所 客員研究員、マサチューセッツ工科大学 客員教授を歴任。



【専門】 インフラ政策， 交通政策， 交通計画等。

【受賞】 交通工学研究会 研究奨励賞受賞。